

キシリトール咀嚼チェックガム 説明書



1. 製品の特長

- 咀嚼前には緑色のガムが、よく噛むことで徐々に赤色に変化していきます。小児から高齢者まで簡単に使用できます。
- 甘味料としてキシリトールを50%以上配合したシュガーレスガムで、味はミックスフルーツ味です（フルーツ香料使用）。
- 歯に付着しにくいガムベースを使用しているため、義歯を使用されている方にも安心してご使用できます。（ただし、全ての方の義歯に付着しないわけではありません。）
- アレルギー物質28品目は使用していません。

2. 使用方法

本製品の開発と製品を使用した研究を行っている東京医科歯科大学 高齢者歯科学分野が標準としている最新の使用方法を簡単にご紹介します。

咀嚼前の準備

食後及びブラッシング後30分間は使用を避け、咀嚼直前に水で5秒以上ぶくぶくうがいをしてください。

咀嚼方法

- ガムを60回咀嚼してください。
- 咀嚼は上下の歯が毎回しっかり噛み合うように1秒に1回のペースでよく噛んでください。
- 未就学児のように1袋量だと大き過ぎる場合は1袋の1/3量を60回咀嚼してください。

咀嚼後の色判定

以下の3つの方法で判定できます

- ① 製品パッケージのカラーチャート
- ② 10段階で評価するためのカラースケール（(株)オーラルケアより販売されています）
- ③ Webアプリケーション

Webアプリケーション

Webアプリケーションでも判定することができます。

商品に同封されている測定用台紙の二次元コードを読み込むとWebアプリケーションが起動します。

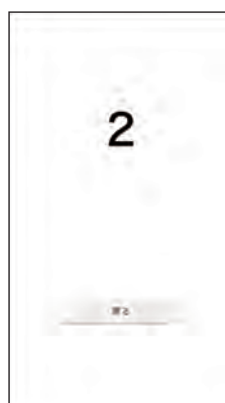
噛んだ後のガムを測定用台紙に乗せてスマートフォンやタブレットのカメラで撮影することで判定してください。



測定用台紙
噛んだガムを乗せて撮影します



Webアプリケーション
トップページ



噛む時間を
カウントできます



ガムの色を識別して
判定結果を表示します

3. メカニズム

キシリトール咀嚼チェックガムにはキシリトールの他にクエン酸、未発色色素、青色色素、黄色色素などが含まれています。この未発色色素は酸性環境下では無色、中性・アルカリ性になると赤色に発色します。咀嚼の進行と共に、含有成分が唾液中に流出します。クエン酸の流出によりガム内部のpHが中性・アルカリ性へと変化していくに従って、未発色色素は赤くなっていきます。その結果として、ガム全体が赤色へと変化していきます。

（詳しくはこちら：https://www.oralcare.co.jp/manage/wp-content/uploads/2026/01/soshaku_ss.pdf）